

# 佐田岬灯台「国登録有形文化財」 登録証授与式



## ふれあいいかた 生涯学習だより

**100年ありがとう!! そして、これからも**

～ 佐田岬灯台「国登録有形文化財」登録証授与式 開催 ～

10月29日(日)、三崎総合体育館において国の登録有形文化財に登録された佐田岬灯台の登録証授与式が開催されました。(詳細は6ページ)



灯台守として活躍された阿部富士男さんに感謝状贈呈

# 12月号

平成29年12月1日発行 No.152

■発行 伊方町教育委員会  
■編集 教育委員会事務局 生涯学習室

# 伊方町へようこそ 眞子内親王殿下



10月7日(土)、眞子内親王殿下が、えひめ国体伊方町開催競技のご視察で本町を訪問されました。沿道沿いには眞子内親王殿下をお出迎えしようと、多くの町民が詰め掛けました。眞子内親王殿下をお乗せしたお車が見えると、大歓声とともに日の丸の旗が一齐に振られ、眞子内親王殿下は笑顔で手を振り応えられていました。



その後、競技会場である伊方スポーツセンターに入られた眞子内親王殿下は、観覧席に設置した専用席にて会場の様子をご視察になった後、会場を後にされました。町をお発ちになる際にも、沿道には多くの町民が見送りに立ち、お車が見えなくなるまで旗を振り続けました。

# 熱戦の舞台裏で

盛会の内に幕を閉じたえひめ国体成年女子バレーボール競技ですが、その舞台裏では大会を盛り上げるべく、多くの団体や学校のご協力を賜りました。みなさんのご活躍の一部を写真にてご紹介いたします。



①



②



③



④



⑤



⑥

①伊方女性塾・更正保護女性会による芋ご飯のふるまい／②環境美化に努める高校生ボランティア／③たんぽぽグループ（伊方生活研究協議会）による酒粕まんじゅうのふるまい／④四ツ葉グループ（瀬戸生活研究協議会）による芋天ぷらのふるまい／⑤会場準備を行う競技補助員（高校生）／⑥試合の合間にコートのもップがけを行う競技補助員（高校生）／⑦花の水やりを行う高校生ボランティア／⑧小・中・高等学校の児童・生徒に作製して頂いた応援のぼり旗／⑨競技を観戦する三崎小学校児童のみなさん／⑩みかんジュース蛇口を堪能する選手たち／⑪三崎高校の生徒によるみっちゃん大福のふるまい



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

# 伊方文化祭 11月3日(金)

# 文化祭

町内4公民館の特色を活かして



翠星会



民謡愛好会



三崎高校吹奏楽部



工作コーナー (伊方町国際交流協会)



もちつき体験 (伊方ライオンズクラブ)



ラ・フルールによるコーラス

# 町見公民館まつり 11月5日(日)



九町小学校ダンス



歌謡



民謡



九町保育所劇遊び



伊方中学校プラスバンド部



各自治公民館の作品展示

瀬戸地域芸能文化祭

10月29日(日)

大久(唐獅子保存会)



瀬戸太鼓集団「風」



花の展示コーナー



バザーコーナー



目赤奉仕団による花の販売



作品展示



三崎文化祭 10月28日(土)、29日(日)

伊方堂々太鼓によるオープニングセレモニー



もちまき



裂織り体験



双球証授与式



花園コーラスによる御詠歌

# 佐田岬灯台

## 「国登録有形文化財」登録証授与式 開催

平成29年10月29日(日) 10時より、三崎総合体育館において、三崎文化祭にあわせて「佐田岬灯台」国登録有形文化財登録証授与式が開催されました。あいにく、台風接近中の荒天でしたが、佐田岬灯台を管理する第六管区海上保安本部松山海上保安部の佐藤至部長もお越しいただき、高門町長から登録証とプレートが手渡されました。

また、100年間佐田岬灯台を維持管理してくださった御礼にと、松山海

上保安部と、20年以上灯台守として活躍された阿部富士男さん(正野)に感謝状が贈呈され、さらに三崎小学校の阿部寿明樹さん、清水志音さんがプレゼンターとなつて、町内9つの小中学校計298人の児童生徒から感謝のメッセージを綴った34枚の色紙が送られました。

佐田岬灯台とともに、地元のわたしたちも、次の100年に向け地域の歴史や文化を大切に受け継いで行きたいものです。



授与された登録証とプレート



## 2種目で新記録!!

### ～西宇和郡小学校陸上競技大会～

10月18日(水)、瀬戸中学校グラウンドにおいて郡小学校陸上競技大会が開催されました。

当日はあいにくの天候でしたが、保護者等大勢の声援をうけながら、どの選手も日頃の練習の成果を發揮しました。また、小枝蓮武さん(三崎小)が2種目において新記録を樹立しました。結果(上位入賞者)は表のとおりです。



男子100m

種目	第1位			第2位			第3位			第4位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	60m	小枝 蓮武	三崎	新 7'9	吉本 創	伊方	8'6	山本 莉琥	三机	8'8	梶原 泰心	三崎	9'1
	100m	小枝 蓮武	三崎	新 12'9	竹本 市忠	大久	14'5	兵頭 類	伊方	15'1			
	60mH	吉本 創	伊方	9'5	山本 莉琥	三机	9'8	成本 奏	九町	10'8			
	400mR		三崎	58'8		伊方	59'5		水ヶ浦	61'8		水ヶ浦	61'9
	走り幅跳び	井上 知也	伊方	4m17	阿部 吉優	大久	3m87	矢野 仁	水ヶ浦	3m86	清水 光	三崎	3m74
	走り高跳び	兵頭 類	伊方	1m20				成本 奏	九町	1m15			
	ソフトボール投げ	梶原 泰心	三崎	63m49	竹本 市忠	大久	54m82	中川 圭太	三崎	48m72	菊池光太郎	水ヶ浦	46m45
女子	60m	牛尾 百花	伊方	9'1	山下 遥奈	伊方	9'2	是澤 愛夢	大久	9'4	村上 友紀	三机	9'5
	100m	山下 遥奈	伊方	15'3	是澤 愛夢	大久	15'4	小野 琴実	九町	16'2	岡田 優月	伊方	16'4
	60mH	牛尾 百花	伊方	10'3	岩井 愛華	三机	10'9	村上 真暖	大久	11'3	米田くるみ	水ヶ浦	11'5
	400mR		伊方	60'6		大久	63'6		三机	64'0		三崎	66'7
	走り幅跳び	村上 真暖	大久	3m48	竹本 彩葉	伊方	3m38	村上 友紀	三机	3m25	片岡 心	三崎	3m17
	走り高跳び	藤野 美咲	三崎	1m23	林 結唯	伊方	1m20	石崎 真尋	大久	1m15	大林 春香	九町	1m10
	ソフトボール投げ	水本 一花	水ヶ浦	52m19	瀧井 滯里	大久	40m56	松澤 心愛	三崎	34m77	井上 世梨	伊方	33m59

## 「プロ野球選手に野球を教わりませんか!」

12月28日（木）に瀬戸球場でプロ野球愛媛県人会主催の野球教室が開催されます。

これは、愛媛県出身や愛媛県内の学校を卒業し、プロ野球選手になられた方たちが県内の小中学生を対象に指導している教室です。当日はプロ野球選手とふれあい、テレビでは見れない選手の素顔と凄さを体感してください。

- ◆ 日 時：平成29年12月28日（木）10:00～14:00（予定）
- ◆ 場 所：瀬戸球場
- ◆ 内 容：記念撮影、キャッチボール指導、守備・打撃練習等（予定）
- ◆ 申 込：プロ野球愛媛県人会HPから申込書をダウンロード後、県人会事務局へメール又はFAXをしてください。（まだ募集が始まっていない場合があります。）
- ◆ 締 切：県人会事務局HPをご確認ください。
- ◆ ホームページ：http://ehime-pbpa.or.jp/



昨年度の教室の様子

## 就学援助制度のお知らせ

伊方町では、経済的理由により就学困難な児童生徒について、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施に資することを目的として就学奨励のために必要な援助を実施しています。

- 認定基準（いずれかに該当すること）
  - （1）生活保護の停止又は廃止となった方
  - （2）町民税非課税世帯の方
  - （3）母子・父子家庭対象の児童扶養手当を支給されている方
 ※（1）～（3）以外でも特別な事情のあるご家庭は学校にご相談ください。
- 援助内容  
学校給食費、学用品費・通学用品費・校外活動費、野外活動費、修学旅行費、医療費など
- 申請の方法  
まず、お子さまが在学している（又は入学する）学校にご相談ください。
- 申請の受付時期

	学 年	申請の受付時期
当 初 認 定 〔年度当初(4月)から 認定される場合〕	在学中の児童生徒 (新1年生以外)	平成30年1～2月頃
	新 1 年 生	平成30年4月まで 〔この時期を過ぎると支払えない援助 費がありますので、ご注意ください。〕
追 加 認 定 〔年度の途中から 認定される場合〕	すべての学年	原則として随時受付 〔認定の時期により、金額が減ったり支 払いができなくなる援助費があります。〕

- お問い合わせ先  
お子さまが在学している（又は入学する）学校  
または教育委員会事務局学校教育室 TEL（0894）38-2660

※認定基準に該当していても、世帯全員の収入等が一定の基準を超え、要保護に準ずる程度に困窮していると認められない場合等は、教育委員会の審査の結果、認定されない場合がありますので、ご承知ください。また、援助が必要と認められた場合でも、経済状態あるいは家庭状況等の変動により援助の必要がなくなったと判断した場合は、年度の途中でも援助を中止することがあります。

# 平成29年度全国学力・学習状況調査 (H29.4.18)

## 1 全国学力・学習状況調査の実施状況について

### (1) 調査の目的

ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

ウ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査の対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒

### (3) 調査内容

○ 教科に関する調査（国語、算数・数学）

※ 主として「知識」に関する問題（A）

※ 主として「活用」に関する問題（B）

○ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

※ 児童生徒に対する調査

※ 学校に対する調査

## 2 伊方町における調査結果の公表について

### (1) 公表の趣旨

学力や学習状況の調査結果について、学校・家庭・地域のみんながその情報を共有し、学力向上のためにどうしていけばよいかを検討して指導改善等に取り組んでいく。

### (2) 留意事項

ア 「9年間の学びを見通した教育の創造」の町統一テーマの下、小学校・中学校の連携による取組を重視する。

各中学校区ごとの地域を一体的にとらえて取り組む。

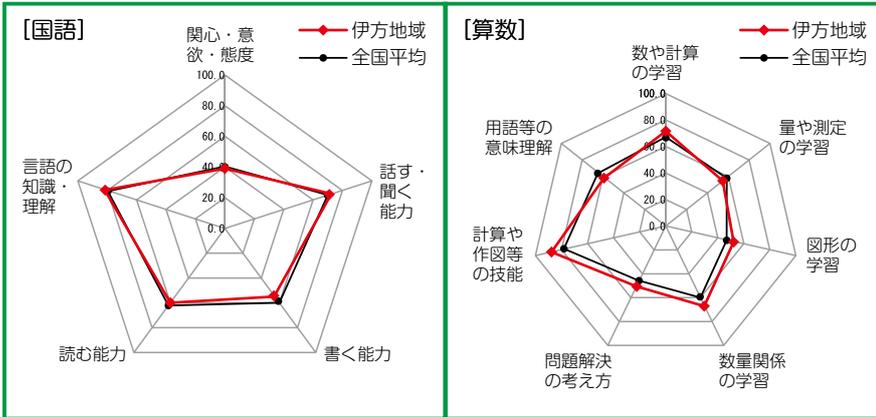
イ 教科に関する調査や児童生徒質問紙調査は、レーダーチャート等で表示し、実態把握や分析、改善策を検討していく。

ウ 点数等の数値表示、一覧表の作成、順位づけはしない。

# 平成29年度全国学力・学習状況調査における調査結果 【伊方地域】

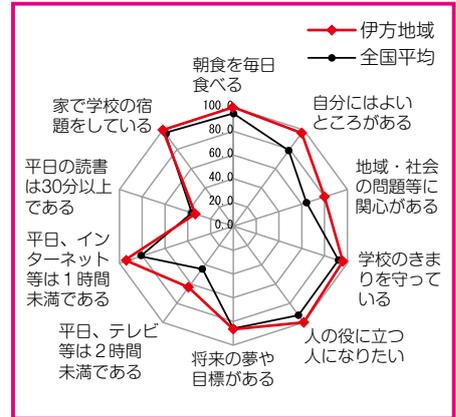
○教科に関する調査（全国の平均正答率との比較）

<小学校>

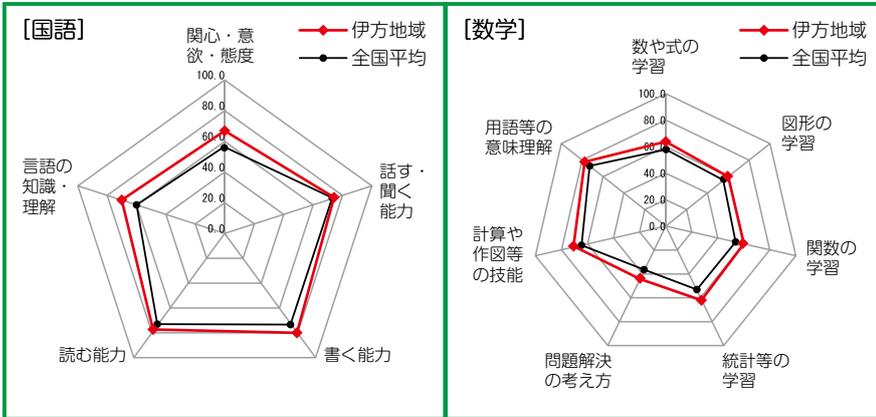


○児童生徒質問紙調査（全国の平均回答率との比較：肯定的な回答）

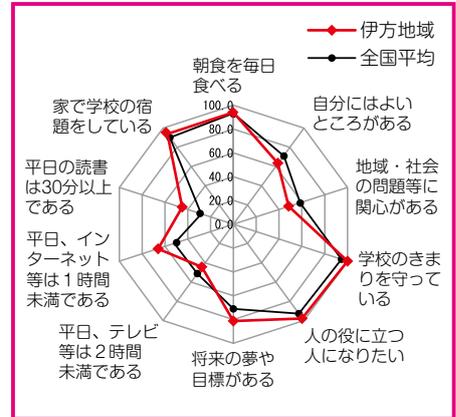
<小学校>



<中学校>



<中学校>



## 結果の分析

<小学校>

- 国語・算数ともに、基礎基本の問題は全国平均をやや上回っているが、活用問題はやや下回っている。国語の「読む力」「書く力」と算数の「用語等の意味理解」に課題がある。
- 児童生徒質問紙調査では、ほとんどの項目が全国平均を上回っている。特に「朝食を毎日食べる」「人の役に立ちたい」「宿題をする」の項目は、肯定的な回答が100%である。「平日の読書は30分以上」の項目がやや下回っている。

<中学校>

- 国語・数学ともに、どの項目も全国平均を上回っている。特に国語の「関心・意欲・態度」「言語の知識・理解」と数学の「統計等の学習」「問題解決の考え方」はよい傾向にある。
- 児童生徒質問紙調査では、ほとんどの項目で肯定的な回答が全国平均を上回っている。特に昨年度の課題であった「将来の夢」の項目に改善が見られた。「自己肯定感」「地域・社会の問題への関心」の項目では、やや下回っている。

## 改善方針

<小学校>

- 各教科等を通して、「読む力」や「書く力」を伸ばすための指導の工夫を図る。
- 算数では、「用語等の意味理解」の指導を工夫する。
- 授業改善や家庭学習の推進等、学力向上の取組の継続と充実を努める。

<中学校>

- 国語の基礎的・基本的な力をさらに

伸ばし、活用能力の向上に努める。

- 「自己肯定感」を高めるとともに、「地域・社会への関心」を持たせる指導等の工夫を行う。
- <小中共通>
- 学力差の解消に努め、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。
  - 学校や家庭での読書時間を確保するとともに読書意欲を高める。

## 具体的な取組

<小学校>

- 各教科の中で、問題の意図を正しく読み取り、条件に合わせて書く活動を積極的に取り入れる。
- ICT機器を積極的に用いることにより、学ぶ意欲をより高めるとともに、数量や図形の学習等に効果的に活用する。
- 自分の思いや考えを整理して、話し合ったり発表したりする機会の充実を図る。
- 繰り返し学習することで用語等の意味理解を深め、既習内容の定着を図る。

<中学校>

- 話し合い活動や自分の考えを発表する機会を充実させるとともに、視写学習、読書活動の推進を図る。
- 総合的な学習の時間等を利用し、体験的な活動の充実を図ることで、地域・社会への関心や自己肯定感を高める。

<小中共通>

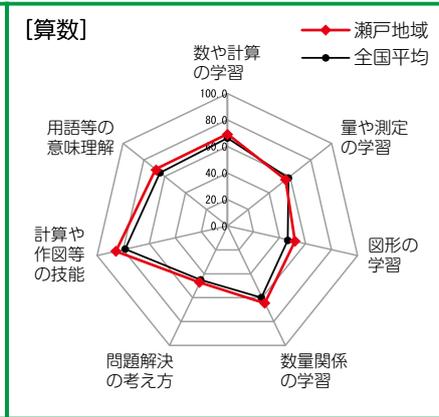
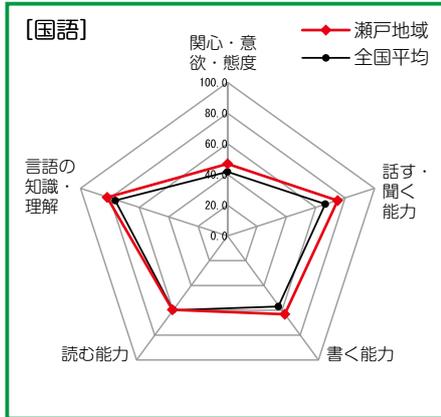
- 習熟度別学習やワークシート等の工夫をし、個に応じた手立てを講じる。
- 「家庭学習!学びのステップ」の活用により、家庭と連携し、家庭学習や読書の時間を確保する。(ノーゲームデーの継続)

# 平成29年度全国学力・学習状況調査における調査結果 【瀬戸地域】

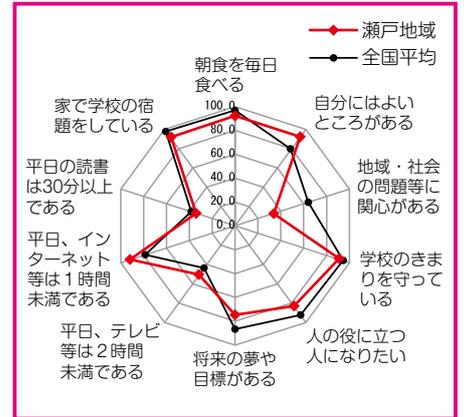
○教科に関する調査（全国の平均正答率との比較）

○児童生徒質問紙調査  
（全国の平均回答率との比較：肯定的な回答）

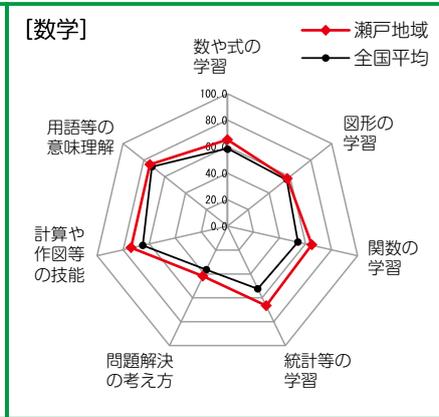
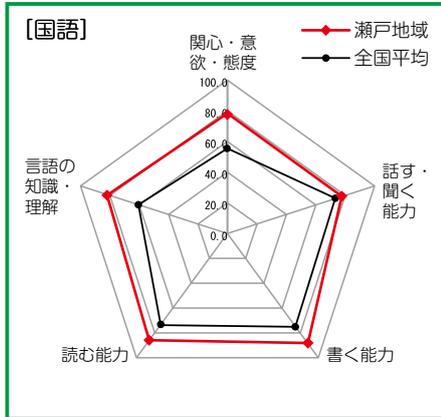
<小学校>



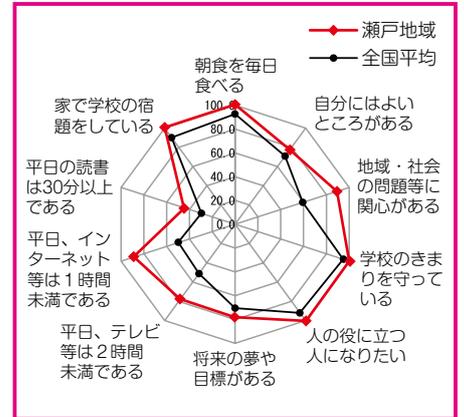
<小学校>



<中学校>



<中学校>



## 結果の分析

《小学校》

- 国語は、「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く力」は昨年に引き続き全国平均を上回っている。また、昨年度課題であった「言語の知識・理解」も全国平均を上回っており、改善が見られる。しかし、「読む能力」は、基礎基本の問題では平均を上回ったが、記述式の問題の正答率が低い。
- 算数については、昨年度課題であった「図形の学習」「問題解決の考え方」に改善が見られ、すべての項目において全国平均とほぼ同じか、もしくは上回っており、良好な結果を得た。しかし、「量や測定」

の問題に関する正答率が低い。

- 児童生徒質問紙調査では、「地域・社会の問題等に関心がある」の項目が低い。
- 《中学校》
- 国語科は、全ての項目で全国平均を上回る結果を得た。
  - 数学科は、基礎・基本が定着してきており、ほぼ全ての項目で全国平均を上回る結果を得た。
  - 児童生徒質問紙調査では、全ての項目で全国平均を上回っている。しかし、「平日の読書は30分以上である」の項目が低い。

## 具体的な取組

《小学校》

- 授業や業間活動の中で、書く活動を多く取り入れ、文章表現力の向上に努める。また、ねらいを明確にし、振り返りを文章で書かせることで、「分かる」授業の実践に努め、表現力を養う。みきゃん通帳を活用し、読書活動の充実を図ることで「読む力」の育成に努める。
- 基礎的なドリル学習の時間で身につけた知識・技能を活用する問題を定期的に実施し、学力の向上を図る。
- 総合的な学習の時間を利用して、ふるさとのよさや課題について目を向け、関心を高める授業実践に努める。

《中学校》

- 各教科で小テストを定期的に行い、基礎・基本の定着を図る。
- 少人数のよさを生かし、小グループや集団での学習の充実を図る。
- 読書の時間を設定したり、呼びかけをしたりして、読書に親しませる。

《小中共通》

- 「家庭学習調べ」や「生活リズムチェック」などを定期的に行い、望ましい学習習慣や生活習慣の確立を図る。
- 学校行事や日々の活動、小中連携などにおいて、体験的な活動やつながりを大切にし、成就感や達成感を味わわせ、自己肯定感を高める。

## 改善方針

《小学校》

- 国語については、引き続き文章表現力の向上に力を入れ、自分の考えを文章で正しく豊かに表現できる作文指導等の充実を図る。
- 算数については、基礎的な問題（量や測定）の定着を図るためのドリル学習や個別指導の充実を図るとともに、操作活動を多く取り入れた授業の実践に努める。
- 地域・社会の問題に対する興味・関心を持たせるための授業の見直しや改善に努める。

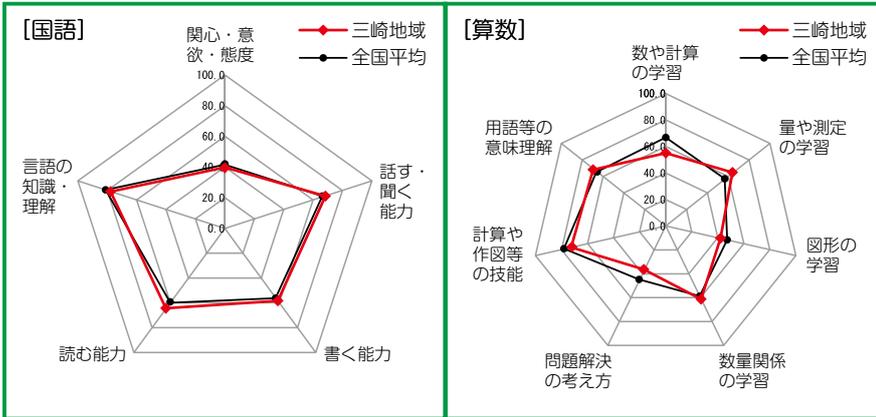
《中学校》

- 基礎・基本の定着を図るための取組を今まで以上に充実させる。
  - 個別指導やグループ学習を充実させる。
  - 平日における家庭生活を見直すとともに、読書に親しませる取組を行う。
- 《小中共通》
- 保護者との連携を密にし、望ましい学習習慣や生活習慣を身に付けさせる。
  - 体験活動を重視し、小中のつながりを密にしながら、児童生徒の自己肯定感を高める。

# 平成29年度全国学力・学習状況調査における調査結果 【三崎地域】

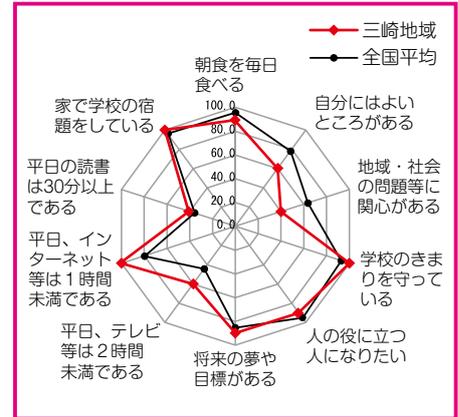
○教科に関する調査（全国の平均正答率との比較）

<小学校>

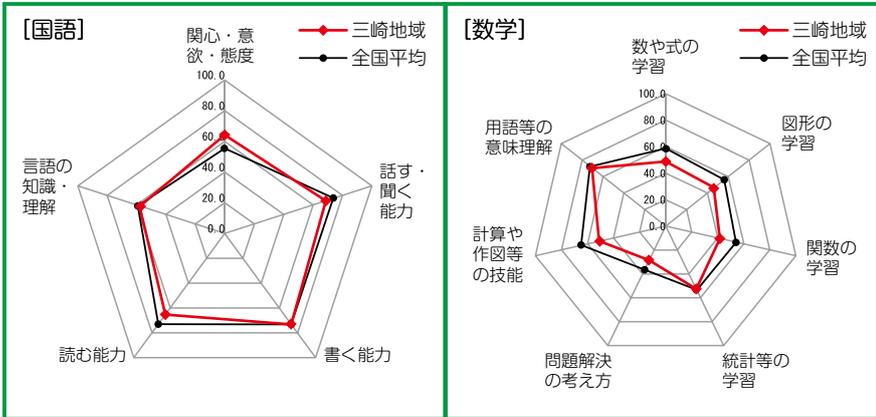


○児童生徒質問紙調査（全国の平均回答率との比較：肯定的な回答）

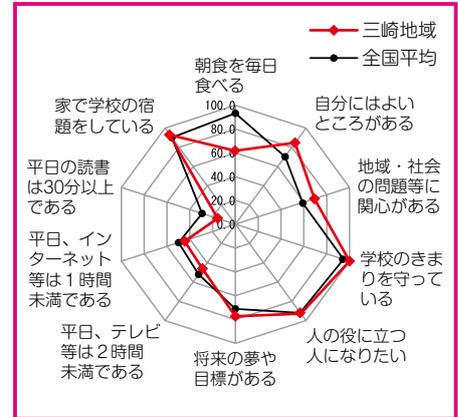
<小学校>



<中学校>



<中学校>



## 結果の分析

<小学校>

- 国語は、どの領域も全国平均と同程度か上回っているが、自分の考えをまとめて記述する問題の正答率が低かった。
- 算数は、大体の項目において、全国平均を下回っている。特に知識に関する問題に比べ、技能や問題解決の考え方に関する問題が下回っている。
- 児童生徒質問紙調査では、学習習慣の項目は、全国平均と同程度であったが、自己肯定感の項目が下回っている。また、

地域・社会の問題等への関心も低い。

<中学校>

- 国語は、「関心・意欲・態度」で全国平均を上回っているが、「話す・聞く能力」「読む能力」が全国平均を下回っている。
- 数学は「統計等の学習」以外は全体的に全国平均を下回っている。
- 児童生徒質問紙調査では、全国平均を上回っている項目も多くあるが、「朝食を毎日食べる」と「平日の読書は30分以上」の項目が全国平均を下回っている。

## 改善方針

<小学校>

- 各教科において、根拠を明らかにして、自分の考えを書く活動を多く取り入れるようにする。
- 算数では、個別指導により、「数量や計算の学習」「図形の学習」の基礎的・基本的技能の定着を図る。

<中学校>

- 個別指導や補充学習を行い、基礎・基本の定着を図る。
- 読書指導や考えをまとめる授業を充実

させ、「読解力」と「話す・聞く力」の向上に努める。

- 保護者との連携を図り、「早寝・早起き・朝ごはん」といった生活習慣や家庭での学習習慣を確立させる。

<小中共通>

- 個別指導を充実させ、基礎・基本の定着に努める。
- 生活リズムを整え、生活習慣、学習習慣を定着させる。
- 自己肯定感を高める活動を取り入れる。

## 具体的な取組

<小学校>

- 補充学習の時間を活用して、個別指導を充実させる。
- ICTを効果的に活用したり、学習形態を活用したりして、自分の考えを伝える場を増やす。

<中学校>

- 基礎定着テスト（小テスト等）を継続的に行い、理解が不十分な生徒には補充学習を行うことで、基礎的・基本的な内容を定着させる。
- 各教科で、自分の考えを文章にまとめ発表する場面を設定し、自分の考えを表現する力、人の意見を聞く力を身に付けさせる。
- 朝学習における読書の時間を増やしたり、呼びかけや集会を行ったりすることで読書に対する意識を高めさせる。

<小中共通>

- 個別指導の時間を確保し、個の定着の度合いに応じて教材を工夫する。
- 生活リズムチェック表を活用し、家庭との連携を図ることで、生活習慣を整える。
- 道徳や学校行事、小中連携の行事を通して、自己肯定感を高める。



# 図書館だより



## 12月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

○…おはなし会 □…休館日

### 《お知らせ》

12月28日(木)～翌年1月3日(水)は、年末年始のため休館します。

休館中に本・雑誌を返却される方は、生涯学習センター1階の返却ポストをご利用ください。CD、DVDは破損する恐れがあるため、4日(木)に直接カウンターまでお持ちください。

■開館日時/火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

伊方町立図書館 (伊方町生涯学習センター2階)

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地 TEL (0894) 38-0607

## 新着図書

### 《一般書》

#### 『西郷どん!』

林 真理子/著

#### 《内容紹介》

下級武士の家に生まれた吉之助は、藩主・島津斉彬の雄姿に、いつの日かこのお方にお仕えしたいと焦がれるようになり…。激動の幕末を駆け抜けた西郷隆盛の生涯を描く。

『はやく老人になりたいと彼女はいう』

伊藤 たかみ/著

『ミ・ト・ン』

小川 糸/文

『覆面作家』

大沢 在昌/著

『毒母ですが、なにか』

山口 恵子/著

『ミステリークロック』

貴志 祐介/著

『忘れる女、忘れられる女』

酒井 順子/著

『笑うお葬式』

野沢 直子/著

『100歳の生きじたく』

吉沢 久子/著

『ていだん』

小林 聡美/著

『しょせん幸せなんて、自己申告。』

綾小路 きみまる/著

ほか

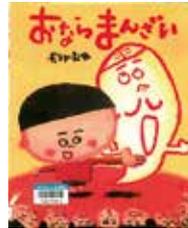
### 《児童書》

#### 『おならまんざい』

長谷川 義史/作

#### 《内容紹介》

プーと出てきたおならがしゃべってビックリ!「ぼくとまんざいせえへん?」と誘われて、男の子はおならとまんざいをするに。誰もが笑ってしまう絵本。



『こねてのぼして』

ヨシタケ シンスケ/作

『いそげ!きゅうきゅうしゃ』

竹下 文子/作、鈴木 まもる/絵

『じょやのかね』

とうごう なりさ/さく

『ぼくのおおきさ』

殿内 真帆/作・絵

『はやくちことばでおでんもおんせん』

川北 亮司/文、飯野 和好/絵

『えっちゃんええやん』

北川 チハル/作

『つくえの下のとおい国』

石井 睦美/作

『教科書にでてくるおはなし366』

WAVE出版/編

『リアル人生ゲーム完全攻略本』

架神 恭介/著、至道 流星/著

ほか

新しく購入した本は右記の図書館ホームページからご覧いただけます。URL: <http://www.town.ikata.ehime.jp/site/tosyokan/>

## 2017・第71回読書週間について



読書週間期間中、佐田岬灯台点灯100年にちなんだ企画展示や、スノードーム作りなどを行いました。たくさんのご来館ありがとうございました。



## ピップスおはなし会のご案内

### ～ 12月のおはなし会 ～

日時：9日(土)・16日(土)

午後1時30分～

場所：図書館 おはなしコーナー

対象：どなたでも参加できます!

絵本や紙芝居など、たのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんな、きてね!

# 佐田岬半島の自然 スライド上映会 (第126回)

12月27日(水) 19時～

今月のテーマ

「夜行性生物に暗闇を！」

※入場無料・お気軽にお越しください。

## ◆ 今月のきょうどかん ◆

2017年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

○=夜スライド上映 □=休館日

TEL・FAX 39-0241  
不在の場合 38-2661 生涯学習室  
開館時間 9:30～16:30  
生涯学習室  
休館 月曜日ほか

## 佐田岬半島のたからもの講座 佐田岬半島の民具について -ウチの民具が地域の 誇りになる日



と き 12月10日(日) 10時～

と ころ 伊方町生涯学習センター  
5階 多目的ホール

講 師 段上達雄 先生  
(別府大学教授・元文化庁調査官)

くらしに身近な農具や漁具が佐田岬半島の歴史や文化を映す宝物だった…!町で管理する民俗資料の現在と将来の活用についても展望します♪入場無料

# 町見郷土館から



三崎牛の風呂敷 (個人蔵)

## 三崎牛 ②

明治以降、地域のさまざまな人々の努力もあって、「三崎牛」は「御荘牛」となるので、愛媛県内の数少ない産地名が冠される牛として有名でした。

愛媛県技師水野高虎氏が昭和二六年に記し同五八年に書写した『三崎牛に就て』という冊子(『瀬戸町誌』編纂資料)によれば、「現在、世人鹿船頭牛と当地で伝えられているものがあるが、これ即ち、往時四ツ浜村田部に伊井鹿蔵と称する船



頭があつて、大阪との交易盛んな当時彼の地より褐毛牛を導入し繁殖したことに始まり、これが又極めて好成績を収めた」とあります。『瀬戸町誌』いわく明治二〇年頃のこと、デボン系統の牛だとされます。その後同四五年には畜産組合が結成され、シンメンタール種などの種牛を導入して品種改良が進められた結果、三崎牛は大正昭和期の共進会や博覧会で数々の優秀な成績を収め、牛を飼う農家も増えていきました。

四ツ浜村は模範畜産指定村となり、川之浜・大久等の砂浜に牛を放つ独特の景観は、戦後県内でも話題となってカメラマンが押し寄せました。大久では昭和四六年まで毎月牛市が開かれ、牛たちが舟に乗って売られていきました。

高度経済成長後、徐々に下火となった畜産業でしたが三崎牛の命脈をつい今日まで保つてくれたのは高茂の開拓地です。高茂では昭和二二年から開拓が始まり、台風等も乗り越え、並々ならぬ苦労を重ねて牧草地を整え、四二年には高茂放牧協業組合が結成されて盛況期は三〇〇頭の牛が飼育されていました。

江戸時代から続く佐田岬半島の畜産史―数多くの人々の創意工夫や努力で紡がれてきた三崎牛の歩みは、この地域の文化として、将来に語り継ぎたいものです。

参考文献・各町誌村誌・『文化愛媛』の旨ほか。



# 平成29年度 愛媛県人権・同和教育研究大会

三崎中学校 教諭 宮本 敬司

## 〈発表内容要約〉

### 『きみの笑顔に逢いたくて』

#### 1 「おりづるの旅プロジェクト」

#### 「さつまいもプロジェクト」

#### 「オレンジプロジェクト」

平成21年、2年生が行った平和学習をきっかけにして始まった「おりづるの旅プロジェクト」は、平成23年6月、東日本大震災の被災地である宮城県気仙沼市の大谷中学校との交流へとつながった。そして、地域の特産物のさつまいもや柑橘にメッセージを添えて送る「さつまいもプロジェクト」「オレンジプロジェクト」へと発展した。

#### 2 『きみの笑顔に逢いたくて』

生徒や地域の方々な取組に共感された地元出身のフォーク歌手「サスケ」さんが、生徒たちの新聞投稿をもとに『きみの笑顔に逢いたくて』という歌を作詞・作曲され、本校を訪れて発表してくれた。昨年10月、「サスケ」さんが5年ぶりに来校され、ミニライブが行われた。生徒は「三崎中で歌い継いでいるオリジナル曲と一緒に歌えて良かった。大谷中をはじめ、被災地への思いがさらに強くなった」などの思いを口にしていた。今では、人と人との絆をテーマとした本校のソウルソングとなっている。

#### 3 支援から交流へ

平成23年12月、大谷中学校から「ゆみずたんぼ大谷っ子米」2.5kgが届いた。大津波により塩水に浸かり、土砂や瓦礫が散乱した田んぼをボランティアの手も借りながらみんなの力で復興させ、収穫したという取組に大きな感動と勇気をいただいた。大谷っ子米は、それ以降毎年送られてきており、送っていただく量が少しずつ多くなっていることに復興の証を感じている。大谷中学校との交流を通して、生徒から「離れているけど思いはつながっている」「大谷中の友達に元気をもらった」との感想が聞かれ、互いが感謝の心でつながっているように感じる。支援する側と支援される側という一方通行の関係ではなく、互いのよさを届け合おうという双方向的な関係が生まれてきた。

#### 4 今年度も…、これからも…

今年度も「おりづるの旅プロジェクト」「さつまいもプロジェクト」「オレンジプロジェクト」を続けている。もの交流からこころの交流へ、今後もつながりを大切にしたい取組を継続しながら、やさしい笑顔があふれる学校、生徒、地域を目指していきたい。



## 風邪に負けない体づくり始めましょう!!

伊方スポーツセンターのプールは温水です。冬でも快適に遊泳出来ますので、是非ご利用ください。

### ◆温水プール使用料

使用区分		使用料金
普通	高校生以上	200円/1時間
	65歳以上・中学生以下	100円/1時間
回数券	高校生以上	2,000円/11枚
	65歳以上・中学生以下	1,000円/11枚
1ヶ月定期券	高校生以上	2,400円/フリー
	65歳以上・中学生以下	1,200円/フリー



12月10日(日)に下の無料券を持参された方は、伊方スポーツセンタープールが無料でご利用頂けます。

- ☆ 利用人数：この用紙1枚で3名まで利用可能
- ☆ 時間：1時間 (9:00~12:00の間)
- ☆ 注意：小学3年生以下のお子様は必ず保護者の方と一緒に遊泳してください。  
：大人1人につき子ども2名までです。  
：必ず、この券をご持参ください。



《詳しいお問い合わせ》  
伊方スポーツセンター 電話 38-1100、38-0776

### 『12月スポセン休館日のお知らせ』

12月4日(月)、11日(月)  
18日(月)、25日(月)  
以上お間違えのないようお願いいたします。

### 『年末年始の休館のお知らせ』

12月29日(金)~1月3日(水)  
今年も、伊方スポーツセンターをご利用頂き、ありがとうございました。  
来年も宜しく願いいたします。

キトリ



広 報

# 文 芸

俳句

町見野の花句会

吹き晴れて懸け大根のたお  
やかに 岩見愛子  
伝統の渡御漕ぎ出する祭船  
川縁秀子  
秋天や屋根に連なる大風車  
岩井フミエ  
山積みの栗つやつやと道の  
井上敦子

三机句会

神輿載す台車白布に巴紋  
大野律子  
マスカット重き三房仏前に  
安田増子  
秋祭鈴の音清き稚児の舞  
長谷美久仁  
風車道電柵囲む芋畑  
高地瑠美子



天辺の空に映りし赤つつじ  
得能利子  
咲くことを信じ球根植えに  
西山美津子  
けり

番匠句会

荒れはてた父母亡き家も十  
三夜 結城励子  
秋の暮雲なき空に上げひば  
り 溝口明美  
秋探し遠き山々皆みえて

イカ釣りの入江に映ゆる  
山口ヤエ子  
夜半の月 佐々木サチ子  
さざん花もやつと咲き初む  
一二輪 柏村ヨシ子  
北風や雨戸ガタガタもがり  
笛 佐々木忠雄



児遊館からのお知らせ

● DVD 上映会

「くまのアーネストおじさんと  
セレスティーヌ」

12月9日(土) DVD上映会を行います。  
○場 所 児遊館内  
○上映時間  
1回目 10:00~  
2回目 14:00~



● 工作教室

「牛乳パックを使って  
羽子板を作ろう」

12月16日(土) 14:00~

お正月は何して  
遊ぼうかな!?

※参加費は無料です。  
※写真は、イメージです。



【お問い合わせ】  
伊方町生涯学習センター内  
児遊館 38-2668